

上信越：四阿山

- ◆日程 2021年5月22日(土)
- ◆メンバー L: OT, SD
- ◆天候 晴れ時々曇り

今年度のハイキングユニットの遠征デイハイク第一弾は、二つのデイハイクを焚火テント泊でつなぐ計画とした。当然、焚火同好会のSD会長とのコラボ企画である。(記: OT)

四阿山(あずまやさん)は日本百名山の一つで山名の由来は山の形があずまの屋根に似ていることからと言われている。別の説では日本武尊が東征の際、鳥居峠で妻が恋しくなり「吾妻よ」と叫んだことからとも言われている。これは孀恋村の言われであり、群馬県側では四阿山を「吾妻山」と表記したり吾孀山(あがつまやま)と呼ぶこともある。

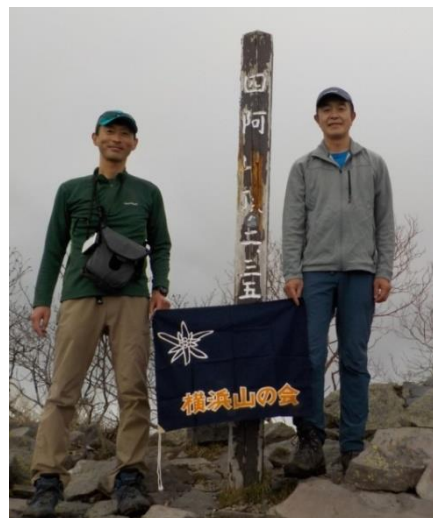
また根子岳は「花の百名山」として有名である。今回のルートは菅平牧場を起点とした根子岳と四阿山を巡る周回コースを歩いた。

広大な牧場から歩き始めダケカンバ林から笹の草原を抜けると展望が開けた。根子岳山頂は広く根子岳神社の祠が鎮座している。近くに「鬼遊びの庭」と呼ばれる異形の巨岩があった。根子岳から四阿山を結ぶ稜線が行く手にクッキリと見え、とても気持ち良く歩けた。樹林帯に入ると急登になり、鳥居峠の分岐を過ぎ、木道を上がると四阿山山頂に着いた。

四阿山の南山腹には複輝石安山岩の大岩脈があり、六角柱状の俵を積み上げたような奇観を呈し、四阿山の的岩として国の天然記念物に指定されているとのこと。山頂にも奇怪な形をした石が積み重ねられていて異様な景色だった。下山ルートで中四阿、小四阿を通るときに根子岳の爆裂火口壁を見ることができた。牧場に着くと楽しみにしていたミルク感たっぷりのソフトクリームを食べて大満足で本日の山行を締めた。



網をのせて肉やそら豆などを焼きながら乾杯。締めのおでんまで腹一杯食べながら火を囲んで楽しい時間が過ごせた。(記: SD)



車で本日の泊地であるカンパーニヤ孀恋村キャンプ場に移動する。このキャンプ場は無印良品が運営しているので管理事務所はさながら無印良品の店舗みたいで大変便利だ。指定サイトに行くとすでにYNさんが待っていた。雨が降るかもしれないのでタープを張り焚火台をセットする。せっかくなのでファイアースターターと麻で着火して焚火を始めた。炭も投入して火が落ち着いたら